



# OLIVE ニュース 9月 2017

月刊紙

10月の予定 4日東洋学園定例会議 5日工賃支給 16~20日平支援学校実習



**Jアラート** 到着前に避難、直ちに避難、直ちに固まら建物を地下に避難してください。ミサイルが落下する可能性があります。直ちに避難してください。

メッセージが流れたら

落ち着いて、直ちに行動してください。

- 屋外にいる場合** できる限り頑丈な建物や地下に避難する。  
地下：地下廊や地下駅舎などの地下施設
- 建物がない場合** 物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。
- 屋内にいる場合** 窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。

- 屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または地上へ避難する。
- 屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を開け、目強りをして室内を密閉する。

## Jアラート警報がなった時は…

今月に入って北朝鮮よりミサイル発射の報道が続いています。特に9月15日は利用者の皆さんが事業所へ向かう時間帯だったこともあり送迎時間を遅らせるなどの対応をいたしました。事業所利用中に警報がなった場合、各事業所は下記のように行動します。

- ・利用者を早急に建物の中へ誘導し利用者数を確認する
- ・可能な限り窓などから離れ室内の中央に避難します
- ・政府等からの報道、指示に従い行動し利用中止の判断を下す

←「国民保護ポータルサイト」より

## アフリカンダンス&ミュージックの後に

9月27日(水)に素晴らしいパフォーマンスを披露し利用者さんたちと踊って歌ったアフリカンダンス&ミュージックの一行(グループ名: Koule kan)から終了後に東日本大震災の被災地を訪ねたいとの申し出があり、おりーぶ後援会で薄磯地区にご案内しました。

一行のダンサーはブルキナファソ(西アフリカ)の出身で長く続く紛争から逃れ、韓国に暮らしているそうです。慰霊碑に手を合わせいわき市・都市復興推進課の職員や復興薄磯区長より津波被害と復興についての説明を受けいわきを後にしました。



## 県立平支援学校保護者見学

9月29日(金)に県立平支援学校の小等部から高等部までの保護者20名が工房 阿列布を見学されました。

参加者の中に福祉サービス事業所の見学が初めての方も数人いたため施設の設備、一日の利用の流れを重点的に説明いたしました。

(工房 阿列布 管理者 佐藤)



## 寄付、物品寄贈の皆様

半田美江子様 永山重康様 金田静子様 丹治敏江様 小松谷純子様 吉田ハルエ様  
吉田京子様 ゆうちょ銀行様 上村幸子様

ありがとうございました。